

令和7年度年報



【令和7年9月 森林づくり塾2025 第4回講座】
(駒ヶ岳登山)

森林ふれあい推進センターは、

国有林野を活用し、自然再生や生物多様性の保全に取り組むNPOや森林環境教育に携わる教育関係者等の活動を技術的に支援する組織として、平成16年4月に設置されました。



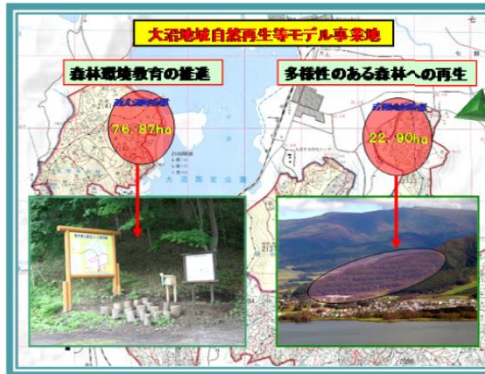
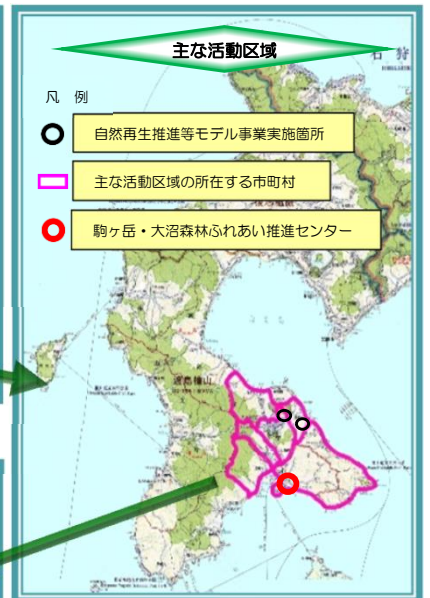
林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

大沼地域自然再生等モデル事業の取り組み

モデル事業地は、大沼国立公園エリアに所在し、漁業関係者から水質保全、観光関係者から景観の維持向上、自然保護関係者から鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっています。

このため、モデル事業の推進について、自然保護関係者や民間ボランティア団体等の代表者で構成する検討委員会を開催し、モデル事業地の箇所の選定、森林の取り扱い、事業の推進方法等についてのランドデザインを作成するとともに、地域等が大沼地区の国有林に求めているニーズをモデル事業に反映するよう努めることにしています。

「大沼地域自然再生等モデル事業」は、地域住民等と連携し、「多様性のある森林への再生」と当該地及び近接地において「森林環境教育の推進」を主とし、取り組むこととしています。



- ＝ 検討委員会 ＝
- 平成16年度ランドデザイン作成のために3回実施。
 - 平成17年度～平成26年度「ランドデザイン」に基づく事業内容の検証及び検討のため年に2回実施。
 - 平成28年12月役割の一部を「大沼自然豊かな森づくり協議会」に継承して終了。

★「大沼自然豊かな森づくり協議会 総会」

令和7年3月12日（水）、南北海道大沼婦人会館（七飯町）において、19名の委員が参加し、第20回「大沼自然豊かな森づくり協議会 総会」を開催。宮崎会長を議長に、令和6年度実行内容及び令和7年度計画について事務局より提案の後、討論を行いました。

植生調査の取りまとめ及び今後の位置づけなどの意見が出され、その後、役員体制について承認された。これからも協力・連携を図りながら、自然再生への取り組みを進めていくことを確認し協議会を終了しました。

協議会参加団体等名
大沼漁業協同組合
大沼地区連合町内会 大沼公園親和会
大沼の水を考える会
北海道国際交流センター
北方森林鳥類調査室クマガワ研究会
函館地方国有林退職者緑の募金推進協議会
個人会員及び関係行政機関



協議会 総会（令和7年3月12日）

★当協議会は、大沼地域自然再生等モデル事業のランドデザインに基づき、森林の再生活動を行うことを目的として平成17年4月に組織されたものです。

★ 多様性のある森林への再生

大正14年植栽ドイツウヒ人工林と昭和56～58年植栽トドマツ人工林、及び昭和27年度植栽カラマツ人工林の22.90haの森林を、地域ニーズを踏まえた生物・水質・景観など多様性のある森林へ誘導します。

【具体的には、周辺の天然林を参考とした森林へと育成します】



「多様性のある森林への再生」箇所において、様々な取り組みを行っています。令和7年度の主な実施内容は、次のとおりです。



吉野山森林植生調査の実施

今年度は、平成27年から続けてきた「吉野山森林植生観察会」の取りまとめを行うため、北海道アウトドアガイド（自然）の木村マサ子氏を中心に大沼自然豊かな森づくり協議会のメンバーのみで森林植生調査を実施しました。

5月21日と7月9日は、天候にも恵まれて実施できたものの、10月15日は吉野山におけるヒグマの出没により中止となりました。



広葉樹植込箇所の下刈作業の実施

7月26日にカミネッコンによる広葉樹の植付箇所にて下刈作業を計画しましたが、連日の猛暑により熱中症の危険があると判断し、中止になりました。



写真は令和6年の様子

★ 森林環境教育（樹木博士認定会）の推進

西大沼国有林の**樹木博士認定常設コース**（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図ることを目的として活動しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための**樹木博士認定会**の開催や研修会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



樹木博士認定常設コース



常設コース看板



認定会の様子

樹木博士認定会とは

樹木の名前や識別方法を学習した後、樹木名を答える試験を行うもので、それをきっかけとし、森林に親しんでもらうことを目的とした森林環境教育（アウトドア活動プログラム）のひとつです。

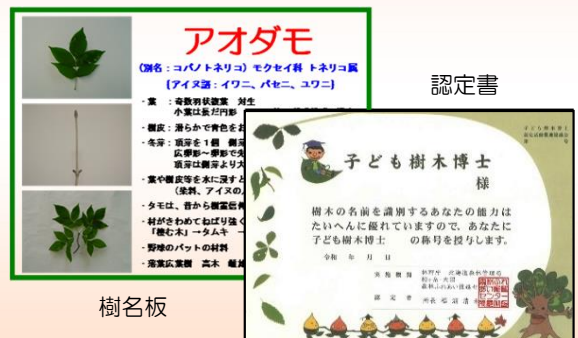
樹木博士認定コース

子ども樹木博士認定活動推進協議会（平成12年設立）のプログラムを採用し、平成16年には、この活動を地域に広めることと森林環境教育に関する指導者の養成を図るための活動の拠点として、誰でもいつでも利用できる「**常設コース**」を大沼国定公園内の西大沼国有林（七飯町）に開設し、対象者を子ども達だけではなく一般にも広げ、毎年6月から9月の第一日曜日に**定期開催**しています。



進め方

1時間程度の樹木の説明を受けた後、樹種名（20～30種）を答える試験を行い、成績に応じて段級（**最高位は10段**）を決定し、認定書を授与します。



樹名板

認定書

コース概要

- ◆ コースの距離 事前学習コース [450 m]
テストコース [390 m]
- ◆ 試験樹種 40種（ブナ・ミズナラ・スギなど）



左写真はセンターで作成した「樹木ガイドブック／全70ページ」（平成23年3月発行）

このガイドブックにより、樹木の説明を行います。



令和7年度の樹木博士認定会の取組については、公募により6月・7月・8月・9月の4回の定期開催を計画しましたが悪天候のため中止があったため3回の実施になりました。

また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で取り組んでいる生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。

定期開催の結果の内容等については、次のとおりです。

第1回開催（西大沼）



第2回開催（西大沼）



第3回開催（西大沼）



第4回開催（西大沼）

悪天候のため中止



本年度の定期開催の参加者は延べ11名で、今年も参加者数が伸び悩んでいることから教育機関等への働きかけをすると共に他のイベントやホームページでPR活動を行っていきます。

● 定期開催結果

回数	認定会日時等	参加者	内 訳
第1回	6月 1日（日） 10：00～12：30（西大沼）	1人	子供 0、大人 1
第2回	7月 6日（日） 10：00～12：30（西大沼）	4人	子供 0、大人 4
第3回	8月 3日（日） 10：00～12：30（西大沼）	6人	子供 0、大人 6
第4回	9月 7日（日） 10：00～12：30（西大沼）	中止	子供 0、大人 0

● その他開催

職員研修（若手職員OJT研修）	15人
-----------------	-----

● 樹木博士認定状況

令和7年度末 累計	2,790人（平成12年度の旧函館分局から行ってきた合計です）
-----------	---------------------------------

★ 森林づくり塾2025 開講

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、**森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成**を目的としています。

「森林（もり）づくり塾」の取り組みは今年で19年目となります。

公募を行った結果、函館市、北斗市、七飯町から20名の参加があり、昨年に引き続き渡島総合振興局林務課の「森への誘い講座」と連携して実施しました。令和7年度の森林づくり塾は、5回実施の予定をしていましたが、低気圧の接近や道路の決壊等により4回の実施となりました。

第1回講座

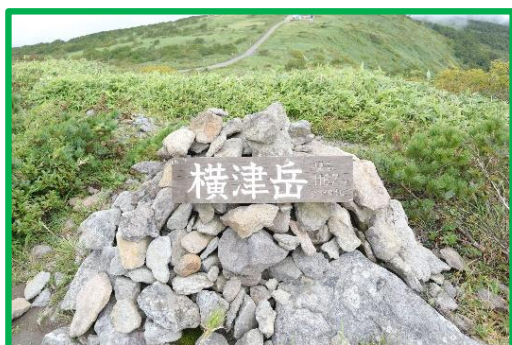
6月22日（日）、函館地方合同庁舎大会議室にて今年の塾生20名のうち18名が参加し、開講式を実施しました。森林づくり塾の目的は、森林の役割や森林づくりの基礎を学ぶとともに実際に森林作業を体験し技術の習得や森に親しむことで森林・林業への理解を深めるためです。今回は、国有林の概要、今年度の活動予定などの説明及びカミネッコンの作り方を学びました。



第2回講座

7月16日（水）、渡島総合振興局の主催で共同開催による横津岳登山を計画していましたが低気圧の接近による雨天及び道路の決壊等のため中止になりました。

下記の写真は、令和5年度「横津岳登山」の様子



第3回講座

8月31日（日）、渡島総合振興局の「森への誘い講座」との共同開催で七飯町吉野山国営にて植付作業を実施しました。双方の塾生など総勢35名が参加しました。渡島総合振興局から局長及び産業振興局長もご参加頂きました。また、カミネッコンの作成・運搬には、檜山森林管理署及び渡島森林管理署の若手職員にもお手伝いをして頂きました。



第4回講座

9月28日（日）、「森への誘い講座」との共同開催で駒ヶ岳の登山を実施しました。双方の塾生など27名が参加しました。今回は、山麓の治山施設を見学し渡島森林管理署の担当官等から駒ヶ岳の噴火の歴史と復旧・防災機能の高度発揮のメカニズムなどのレクチャーを受けました。その後、駒ヶ岳の登山を実施しました。6合目広場から「馬の背」までの登山で好天にも恵まれ大沼も一望できた登山となりました。



第5回講座

10月22日（水）、渡島総合振興局林務課の「森への誘い講座」で行われた「森からの贈り物」と題した、キノコの生態学講座と散策に参加しました。道南四季の杜の里の舎（いえ）で、函館キノコの会会長の石垣充一さんが講師となり、食用キノコの栄養や働きなど、多様なキノコの魅力いっぱいの講義内容でした。

午後からは、公園内を散策しながらキノコの発生しやすい場所、キノコの繁殖方法は様々であるなどの解説も頂きました。

今回で「森林づくり塾2025」は終了となりましたので、閉講式として修了証書の授与を行い全日程を終了しました。



令和7年度の活動一覧

年月日	曜日	実施内容
R7. 5. 11	日	第75回 北海道植樹祭（道南四季の杜公園）
R7. 5. 21	水	大沼自然豊かな森づくり協議会：第1回 植生調査（吉野山国有林）
R7. 6. 1	日	第1回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R7. 6. 4	水	「森への誘い講座」（渡島総合振興局林務課）：講師派遣（道南四季の杜公園）
R7. 6. 22	日	第1回森林づくり塾：開講式（函館地方合同庁舎）
R7. 6. 25	水	「森への誘い講座」（森林づくり塾参加）：応急措置講座（渡島総合振興局講堂）
R7. 7. 4	月	遊々の森 植付体験：函館大学付属柏稜高等学校（カリマ国有林）→中止
R7. 7. 6	日	第2回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R7. 7. 7	月	遊々の森 植付体験：函館大学付属函館有斗高等学校（カリマ国有林）
R7. 7. 9	木	大沼自然豊かな森づくり協議会：第2回 植生調査（吉野山国有林）
R7. 7. 16	水	「森への誘い講座」（第2回森林づくり塾）：横津岳登山 →中止
R7. 7. 18	金	五稜郭保安林：清掃作業支援（函館市）
R7. 7. 26	月	大沼自然豊かな森づくり協議会：下刈作業（吉野山国有林）→中止
R7. 8. 3	日	第3回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R7. 8. 7	木	日高南部森林管理署ほか若手職員OJT研修（西大沼国有林）
R7. 8. 31	日	第3回森林づくり塾：植付体験（吉野国有林）
R7. 9. 7	火	第4回樹木博士認定会（西大沼国有林）→中止
R7. 9. 28	日	第4回森林づくり塾：駒ヶ岳登山
R7. 10. 15	水	大沼自然豊かな森づくり協議会：第3回 植生調査（吉野山国有林）→中止
R7. 10. 22	水	「森への誘い講座」（第5回森林づくり塾）：森からの贈り物（道南四季の杜公園）
R8. 3. 11	水	大沼自然豊かな森づくり協議会：協議会総会（七飯町）

主な活動実施区域



西大沼（にしおおぬま）国有林



駒ヶ岳（こまがたけ）国有林



吉野山（よしのやま）国有林



カリマ国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター
〒040-0032
北海道函館市新川町25番18号（函館地方合同庁舎6階）
TEL 0138-86-6897
E-mail h_koma_f@maff.go.jp